

# 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）  
発行人 南部 美智代  
No.170  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町3-8 中北ビル5F  
Tel. 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>



合同記者会見実施

## 中京大・大内教授が警鐘 秋の学費支払い厳しくなる危険性



コロナ禍で大学生が置かれている現状について述べる中京大・大内裕和教授（左）=10月12日、文部科学省

中京大学・大内裕和教授と中央労福協は10月12日、文部科学省内で「コロナ禍での学費と奨学金への支援の要請に関する記者会見」を合同で実施した。大手各紙記者など18名が集まった。全国の大学等において後期（秋学期）が開講し、対面授業も始まったが、コロナ禍によるアルバイト収入の減少など、学生の経済的状況は依然として厳しい状況に置かれている。大内教授は「学費の支払いが前期（春学期）よりも厳しくなる危険性が高い」として、学生生活を支援する各制度の拡充を強く呼びかけた。

冒頭に挨拶した中央労福協・神津里季生会長は「より多くの人々に学生の実情について知っていただかないと制度の改善につながらない」として、「文部科学省として学生の実態を把握するとともに、これに基づいた制度の拡充等をしっかりやって頂きたい」と強調した。

学費と奨学金問題に詳しい中京大学・大内裕和教授は「アルバイト収入は減少傾向が続き、またアルバイトが見つからない状況も続いている」として、大内教授の元に届いている実際の

学生の声に触れながら、コロナ禍における学生の深刻な現状について述べた。大内教授は「オンライン授業が多かった前期（春学期）は、経済的に厳しい状況にある学生も実家を頼ることができたが、対面授業が始まった後期（秋学期）は下宿先に出てくる学生も多くなる」として「学費の支払いが前期（春学期）よりも厳しくなる危険性が高い」と警鐘を鳴らすとともに、学生支援緊急給付金や大学等修学支援制度の支援対象の拡大、給付型奨学金制度の拡充などを強く呼びかけた。

### No.170 Topics

- 2面 ろうふくエール基金助成始まる
- 3面 第2回地方労福協会議  
第1回Web学習会
- 4面 リモート分散会に挑戦！LSC研修
- 4面 連載60 地域ユニオン創設に先鞭をつけた鷲尾悦也